

家庭教育通信

Vol.

27

監修:白井市家庭教育講座講師 富澤 優江^{ゆうこ}
発行元:白井市教育委員会(教育部生涯学習課 492-1111 内 3431)

平成24年12月発行

「家庭教育通信」は、子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい家庭教育について、皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

『我が子の名前、慈しんで呼んでますか?』

公園やショッピングセンターに行くと親が子どもを呼ぶ声を耳にします。あなたがお子さんの名前を呼ぶときは、どんな時ですか?どんな気持ちで声をかけているのでしょうか。

「孝太!ごはんよ。早く来て。孝太!聞いているの?返事ぐらいしなさい!」 「亮介!!ちょっといらっしやい!」 「みどり!止めなさい!」 「ひとみー帰るよ。ママ帰っちゃうよ。バイバイ。」 「周一、何度言ったら分かるの?」等々。

子どもが親の言うことをきかないときでしょうか。子どもの行動に親がイライラし、怒りを感じているときでしょうか。



朝、何度起こしても起きない子どもに、「早く起きなさい」「遅れるよ。」「がんばって」「いい子だな。エライな」「遅刻しても知らないよ」「赤ちゃんみたいで恥ずかしいわね」「夜中までゲームやっていたんでしょ」「だから早く寝なさいって言ったでしょ!」「毎朝毎朝、いい加減にしなさいよ」「もう起こしてあげない」「勝手にしなさい」などと言いながら、ふとんの引っ張り合いをし、親はドアを「バン!」と閉めて子どもの部屋を出て朝の家事に戻る。

起きてきて慌ててしたくをしている子どもに「だから言ったでしょ」「連絡帳は?忘れても届けないから」「早く行きなさい」「ご飯は?もういいの?」「まったく!毎朝毎朝。なんでこうなのかしら!」こんな光景は想像に難くありません。

登校出勤前の、忙しい時間帯です。親に仕事や家事予定があればイライラは募ります。これらの言い方は、よく耳にする言い方ですから、親が怒った時のふつうの言い方と言えるかもしれません。けれど、この言い方は、言われた人の心を傷つけます。それは、この言い方を夫婦の会話にしてみるとよく分かります。

風邪をひいたようで頭痛く、朝起きるのが辛いときに、夫が妻に「何やってるんだ」「早く起きろよ」「なんで昨日のうちに薬飲まなかったの?」「寒いのに見栄はって薄着するからいけないんだ」と言ったら、妻は何を感じ、何と言うのでしょうか。妻から「だらしないわね。男のくせに」「忘年会って言って、毎晩飲み歩いているからよ」と言われたら、夫はどうするのでしょうか。

夫も妻も、ばかにされた・コントロールされた・否定されたなど感じて、怒り夫婦げんかになることもあるでしょう。ずっと口をきかないこともあるでしょう。この人に言ってもだめだと感じて心を閉ざしてしまう人もいます。

子どもも同じです。

親から“あなたが悪い”“あなたはだめだ”“あなたが私を怒らせた”と言われたと感じて、責められている・嫌われている・全人格を否定されたと思うのです。怒りや不満を持ったり恐れたり、自信をなくし、親と関わることを避けたいくなります。

親の愛情を信じられなくなり親子の関係に少しずつですがひびが入ってしまうのです。

家族が大切。絆が大切。と頭でわかっていながらも日常生活のいつものことばかけで、気づかないうちに大切なものをないがしろにしてしまっているのは、悲しいことです。

では、子どもの人格を全否定せずに、親子関係を壊さないようにしながらも、思いを伝えたりしつけをしたりするにはどのような言い方をしたらいいのでしょうか。

大事なことは、親が相手に「困っている、止めてほしいと思う行動」「止めてほしい理由」「その時の感情」を、分かりやすく伝えることです。

先ほどの、早起きできない子どもに思いを伝えるときなどは、このように話してみてもはどうでしょうか。

“7時30分を過ぎて起きないと、”……………《親が困っている子どもの行動》

“何回も起こしに行くので食事やお弁当作りが遅れるので、”……………《親が困る理由》

“イライラします。”……………《親の感情》

子どもの心を大切に、関係を大切に。そして、親自身の心も大切にする言い方に変えてみませんか。

この言い方は指示命令が無いので、子どもは戸惑ったりすぐに親の思う行動をとるとは限りません。

けれど、全否定されていないので、パニックにならないで子どもがどうしたらいいのかを考えられるのです。

この伝え方に親の話し方を変えると、子どももかわってきます。そして、親もかわってきます。子ども名前を呼ぶときの声のトーンがとても温かくなるのです。

多くの親は、子どもの誕生を待ちながら、その子の名前を考えます。名前に込められているのは、子どもの幸せを願っての親の愛です。子どもを叱るためのものではありません。ですから、その子の名前を大切に慈しんで呼んで、その命を大切に、関係を大切にしたいものです。寒く忙しい年の瀬だからこそ、家族の温かさに触れたいものです。

県内の相談場所

・ 家庭教育の悩みや不安について

白井市教育委員会教育部教育センター一室 TEL 492-2301

県子どもと親のサポートセンター TEL 0120-415-446

(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)

県総合教育センター特別支援教育部 TEL 043-227-1166

・ 養育上の悩みや非行・虐待などについて

白井市家庭児童相談室 TEL 497-3477

中央児童相談所(子ども家庭110番) TEL 043-252-1152

社会福祉法人 千葉いのちの電話 TEL 043-227-3900

・ 子どもの非行などについて

千葉県警少年センター(ヤングテレホン) TEL 0120-783-497

・ 教え・育てる ウェブサイト 「親力アップいきいき子育て広場」

http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi_pc/ (PCサイト)

<http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi/> (携帯サイト)